

国語 十二—一	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日  
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

そうげん

草原にねころんだ賢治は、夜空の星をな

けんじ

よぞら

ほし

がめました。

ざ

こと座、わし座、白鳥座。

ざ

はくちようざ

たの

せいざ

楽しい星座のせかいが、賢治の心に広

けんじ

こころ

ひろ

がりました。

国語 十二一二	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日  
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

むら ひと

村の人たちは、わらじを直してくれた

なお

きんじろう

金次郎にたいへんかん心し、かんしや

しん

しました。

国語 十二—三	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日  
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

ひ ゆうがた

そして、そのつぎの日の夕方のことです。

な こえ くさ

アンリは、鳴き声のする草むらにいきなり

だ

とびこみました。すると、きゆうにとび出

したものがいます。アンリは、ぱつとつか

みました。

国語 十二―四	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日  
月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

むら かせ ひ きしや

きようは、その村に帰る日です。汽車から

か むら なが

おりたあと、家ぞくがすむ村までは、長い

なが みち ある

長い道を歩かなければなりません。

国語 十二―五	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく  
りぐ  
んだ  
ひ  
月 日

つぎの文章は、ぶんしやうてん(一)をうっていません。

ただ正しい場所にてん(一)をうちましよう。

こんなことがあつてから、フローレンスは、

(みんなのためにできることは何なんだろう。)

と、かんが考えるようになりました。

そして、その人ひとのことを思おもって話はなしあい手て

になつたり、家いえのそうじをしたりしました。